



概要

美幌町は、農業を基幹産業とした田園都市であり、市街地においては、通学・通院・買物等のための移手段として町営バス、スクールバス、福祉バスが運行されているが、利用率は極めて低く、また、郊外部においては、公共交通空白地域が生じているといった課題がある。このため、町営バス・スクールバス・福祉バスの再編、郊外部におけるデマンド型交通の導入、公共施設・観光施設へのアクセス手段の確保等の調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・JR石北本線(美幌駅)
- ・北海道北見バス(株)(北見・津別方面)
- ・網走バス(株)(網走・小清水・斜里方面)
- ・阿寒バス(株)(町内循環線、女満別空港連絡バス)
- ・町営バス(3路線)、スクールバス、福祉バス

地域公共交通の課題

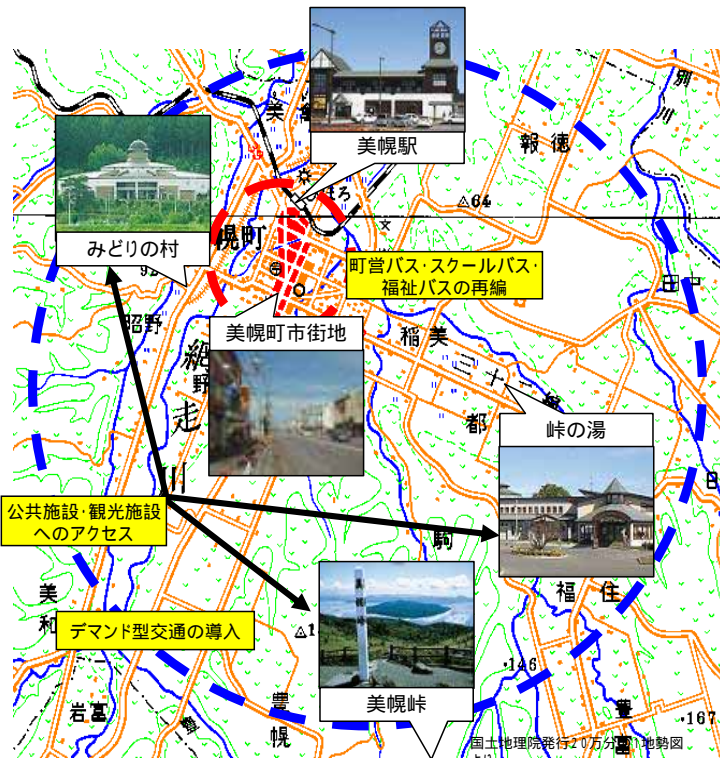
- ・市街地における町営バス、スクールバス、福祉バスの効率化
- ・郊外部の公共交通空白地域の解消
- ・公共施設、観光施設へのアクセス確保

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・公共交通の利便性向上策、活性化策の検討

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・市街地における町営バス・スクールバス・福祉バスの再編検討
- ・郊外部におけるデマンド型交通の導入の検討
- ・公共施設、観光施設などへのアクセスの検討



美幌町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

主な調査の実施内容

協議会開催状況

2回開催

分科会等開催状況

幹事会1回開催

左記開催状況はH21.1.30現在

現況交通実態調査

・各種統計資料等による人口、世帯、通勤・通学等現況調査及び民間・町営バスの概要、市街地循環・民間事業者・福祉各バスの利用実態調査を実施。(H20.10~12月)

利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

・公共交通の利用状況・意向把握のための高齢者(65歳以上)を対象としたアンケート及びスクールバスへの一般混乗に対し、並びに福祉バスや市街地循環バスの利用状況や意向を把握するため、各種アンケートを実施。

公共交通の利便性向上策、活性化策の検討

・各種バスを統合し、一般混乗運行の方向性を検討するため、事務局会議や交通事業者との個別打合せを開催。

その他の調査等

・中心市街地活性化に向けた公共交通の活用、待合場所提供等に関する商店街アンケート及び乗合タクシー実施検討に向けてタクシー利用実態調査を実施。

予定している連携計画の内容

町営バス・スクールバス・福祉バスの再編(実施主体:美幌町、実施時期:H21~)

・一般住民も利用可能な町が運行するスクールバス等の再構築を目的とした実証運行の実施。

乗合タクシーの導入(実施主体:美幌町・町内タクシー事業者・各商店会、実施時期:H21~)

・生徒下校時利用の一般混乗による有料ハイヤー輸送の導入及び待合場所の検討。

公共施設、観光施設等への新たなアクセス(実施主体:美幌町、実施時期:H21~)

・パークゴルフやスキー・スケート場、博物館と市街地とを結ぶバスの実証運行の実施。

自己評価のポイント

利用実態調査、アンケート調査、交通事業者との打ち合わせ等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において幹事会も開催しながら合意形成を図っている。

二次評価のポイント

自己評価のとおり。